

1. 件名：高速炉セシウムエアロゾル試験委託事業に関する進捗確認

2. 日時：令和4年1月27日（木）10:00～12:00

3. 場所：TV会議

4. 出席者：

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

石津主任技術研究調査官、井上技術研究調査官、園田技術研究調査官、

藤田(哲)技術研究調査官

学校法人五島育英会東京都市大学 教授

5. 要旨：

ナトリウム冷却高速炉において、シビアアクシデント時に環境へ放出される核分裂生成物の中で、被曝評価で重要となるセシウムは、軽水炉と異なってナトリウムと共存した条件で格納容器内を移行すると考えられるため、その挙動を把握することは特に重要である。そこで、令和3年度原子力施設等防災対策等委託費（高速炉シビアアクシデント時のセシウムエアロゾル挙動に関する試験）事業[1]では、水蒸気雰囲気中でナトリウム化合物エアロゾルが共存する場合のセシウム化合物エアロゾルの挙動に関する知見を実験及び理論計算によって取得する。

本会議では、本委託事業の受託者である東京都市大学から、エアロゾル生成試験の試験準備状況について説明があり、計画どおり進捗していることを確認した。また、セシウム化合物等の熱力学的安定性評価について意見交換を行い、評価条件を決定した。

6. その他：

[1] 原子力規制庁，“令和3年度原子力施設等防災対策等委託費（高速炉シビアアクシデント時のセシウムエアロゾル挙動に関する試験）事業 入札説明書,” 令和3年8月13日公告.